
経済 TOPICS

No. 198
(2022年4月20日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 設備投資が緩やかに持ち直しているものの、消費や生産に弱めの動きがみられるなど、全体としては持ち直しの動きが足踏みしている。この間、新変異株の感染が続いているほか、ロシアのウクライナ侵攻に伴う資源・食料価格の高騰などから企業収益や家計への影響が懸念されるなど、先行き不透明感が一段と強くなっている。
- 米国 … 生産や輸出が緩やかに持ち直しているほか、消費や設備投資も回復していることから、全体としては回復を続けている。この間、消費者物価指数の上昇が続いている。
- 欧州 … 生産が横這い圏内の動きながら、設備投資、輸出や消費が改善していることから、緩やかに持ち直している。しかしながら、今後はロシアのウクライナ侵攻に伴う下押し圧力が強まる可能性が高い。
- 中国 … 輸出は増加を続けているものの、生産が横這い圏内の動きとなっているほか、不動産開発投資が大幅に減少し、消費の回復も鈍化していることから、全体としては回復テンポが減速している。また、不良債権問題の顕在化などにより、景況感の悪化傾向が続いている。この間、上昇が続いていた生産者物価は低下している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
